GESSI

施工・取扱説明書

この製品が正しく取付される様に、説明書に沿って行って下さい。
この説明書以外の方法で施工や使用され、故障が生じた場合は、保証致しかねますので、ご注意下さい。

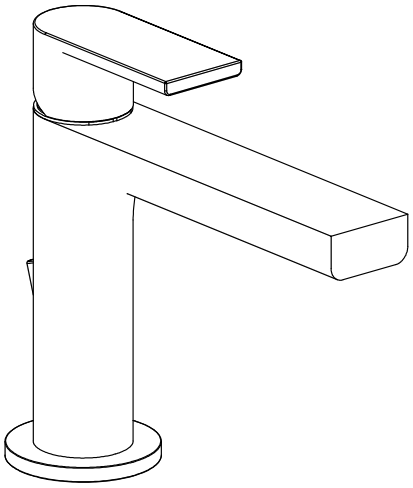
この説明書及び付属工具は、お客様で大切に保管して下さい。

VERA
ヴェーラ

(ポップアップ機能有り)

GS-38601.031(ロータイプ)

GS-38603.031(ハイタイプ)



目次

1.寸法図・各部名称
2.取付方法
3.排水栓取付方法
4.ご使用方法
5.メンテナンス方法
6.こんな時は故障?その前に

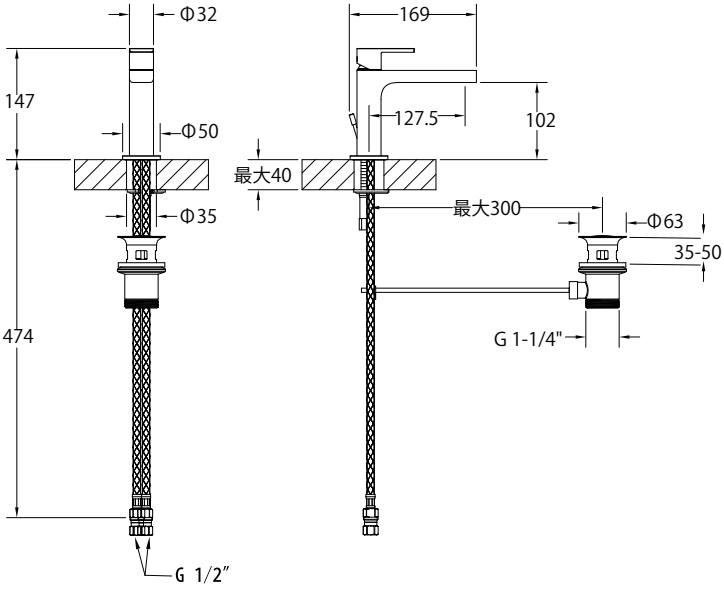
カートリッジ品番　GS-29709.031
エアレーター品番　GS-01103.031

ADVAN
株式会社 アドヴァン

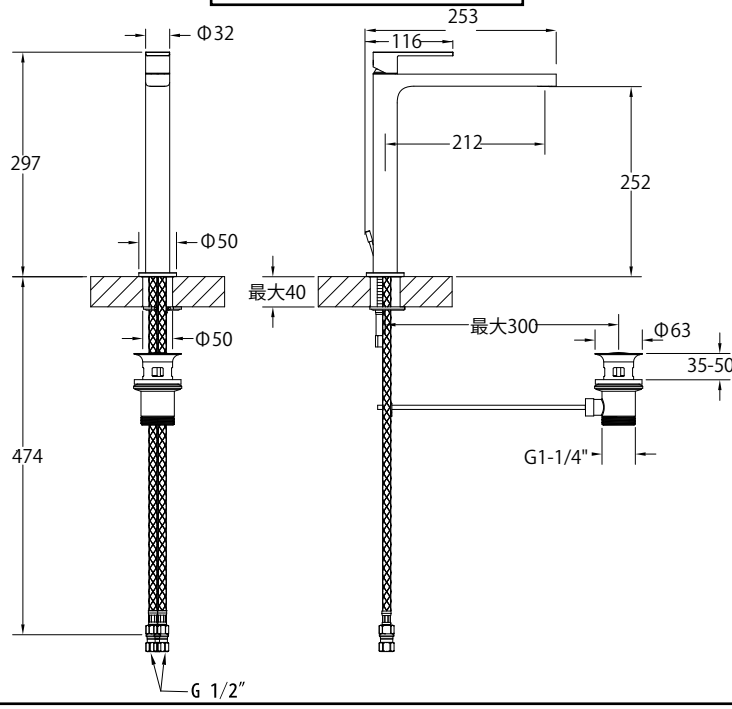
■ 寸法図・各部の名称と注意箇所

寸法図

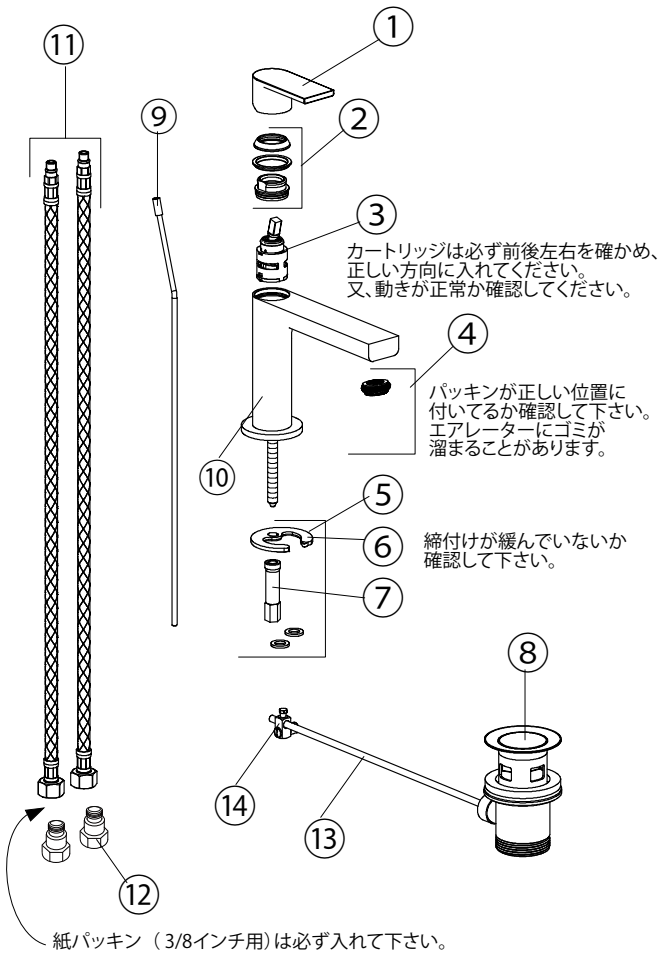
GS-38601.031

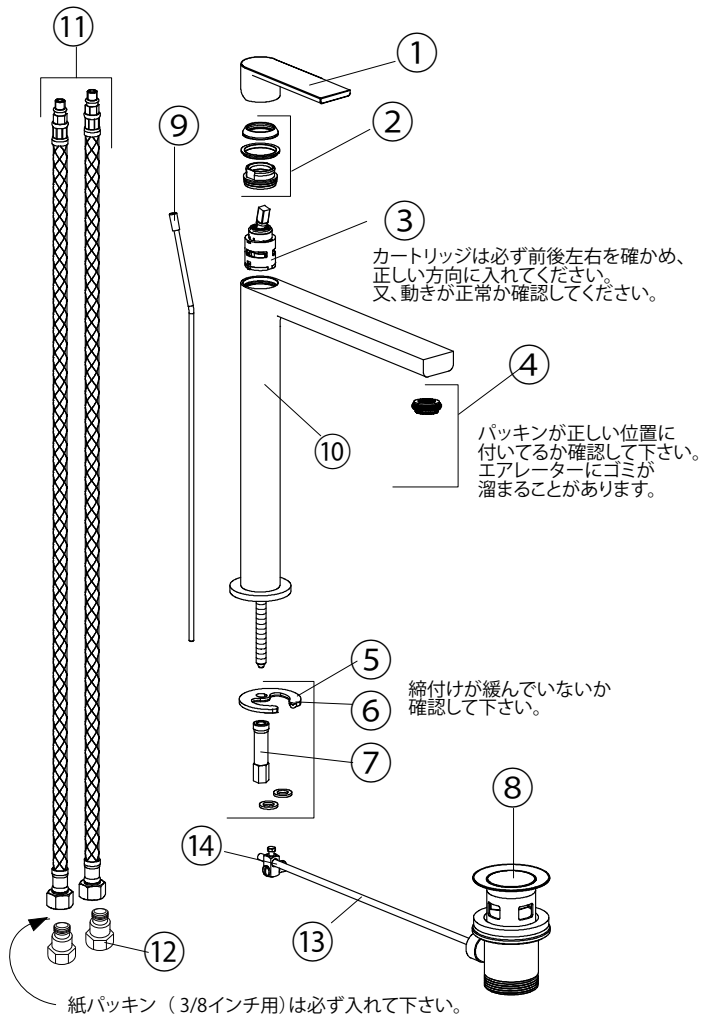


GS-38603.031



各部名称





① ハンドル
② カートリッジ固定リング
③ カートリッジ(GS-29709.031)
④ エアレーター(GS-01103.031)
⑤ ゴムパッキン
⑥ 馬蹄型ワッシャー
⑦ 取付ボルト
⑧ ポップアップ
⑨ ポップアップレバー
⑩ 本体
⑪ フレキシブルホース
⑫ 逆止弁
⑬ ロッド横棒
⑭ ユニバーサルジョイント

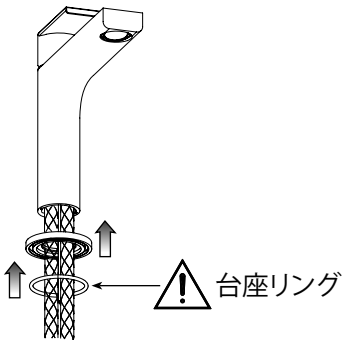
取付上の注意 必ずお読み下さい！

1.取り付け前によく手順を理解して、安全に取り付けを行って下さい。
2.接続部分、ネジ部分、Oリングに汚れ、キズ、ゴミなどがないよう必ずきれいにして下さい。
3.お湯と水の接続は逆にならないようにして下さい。
4.ホースの取り付けは必ずよじれなどのないようにして下さい。
5.お湯、水の調整、点検のため必ず、止水栓をご使用下さい。
6.本体はクローム仕上げですが、取り付けの際には、本体にキズをつけないように十分に注意して下さい。
7.配管の中に、ゴミ、砂などがある場合がありますので、必ず掃除してから本体を取り付けして下さい。
8.カウンターへの取り付け穴はΦ35mmで取り付けして下さい。
9.取付厚み最大40mmまで取付可能です。
10.本品の有効水圧は0.2~0.3Mpaの範囲で正常に機能します。この有効水圧を確保して取り付けして下さい。
0.2~0.3Mpa以外の水圧でご使用した場合は保証の対象外となります。

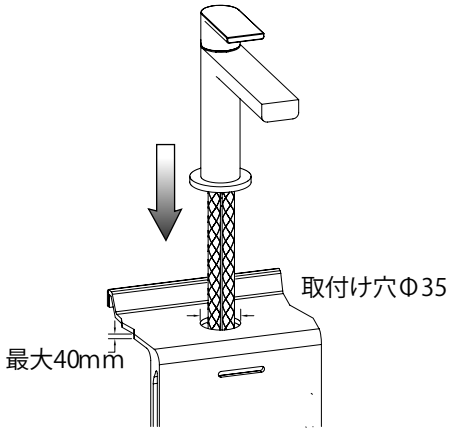
取付手順

水栓本体の取付

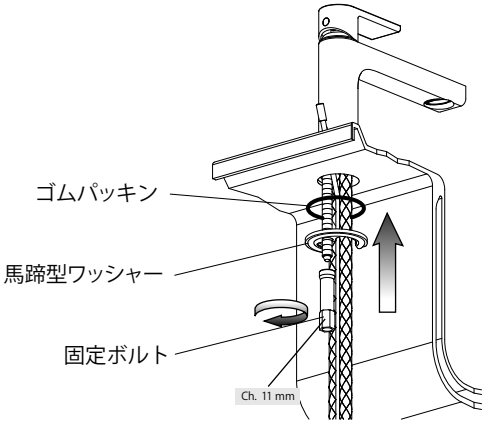
① 水栓の台座の凹み部分に、台座リングを取付して下さい。



② 水栓を取付け穴に挿入して、取付穴中央にのせてください。



③ 吐水口を正しい位置に向けた後、固定ボルトで締め付けて下さい。

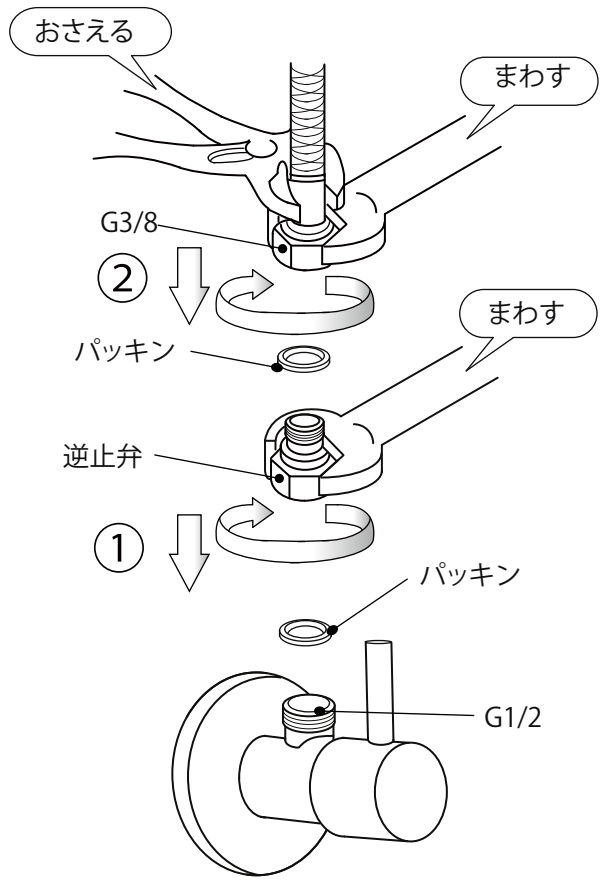


止水栓への取付

必ず、①→②の手順を守って下さい。
（漏水の原因になります）

①最初に逆止弁を止水栓に取付けます。
②フレキシブルホースを逆止弁に取付けます。

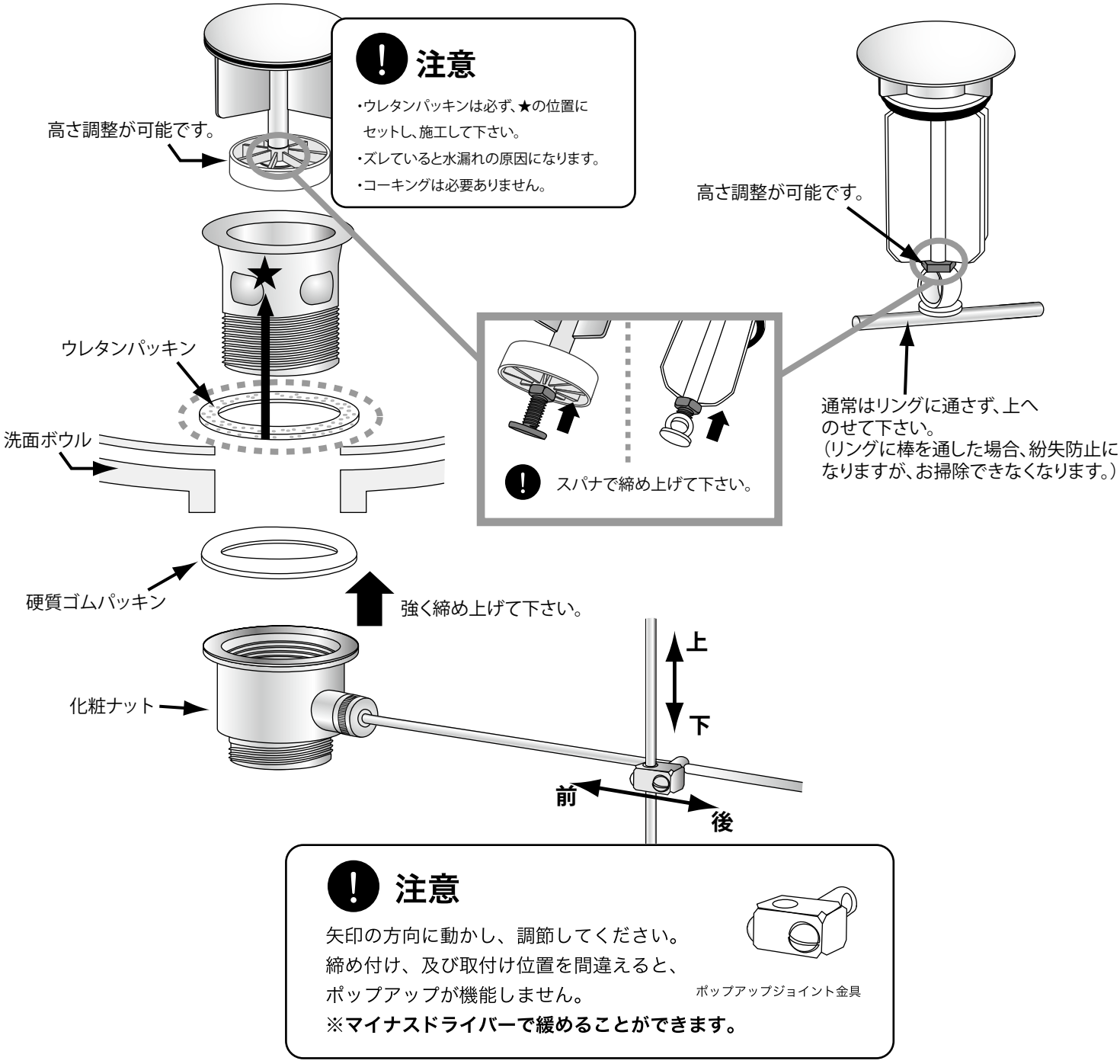
注意
ホースがまわらないように、プライヤーで押さえながら、ボルトを締めて下さい。



パッキンの緩みは水漏れの原因です。
パッキンが潰れるまでしっかり締め込んで下さい。
一度締めたパッキンは使用せず、新しいパッキンをご使用下さい。

タイプ
A

タイプ
B



注意

矢印の方向に動かし、調節してください。
締め付け、及び取付け位置を間違えると、
ポップアップが機能しません。
※マイナスドライバーで緩めることができます。

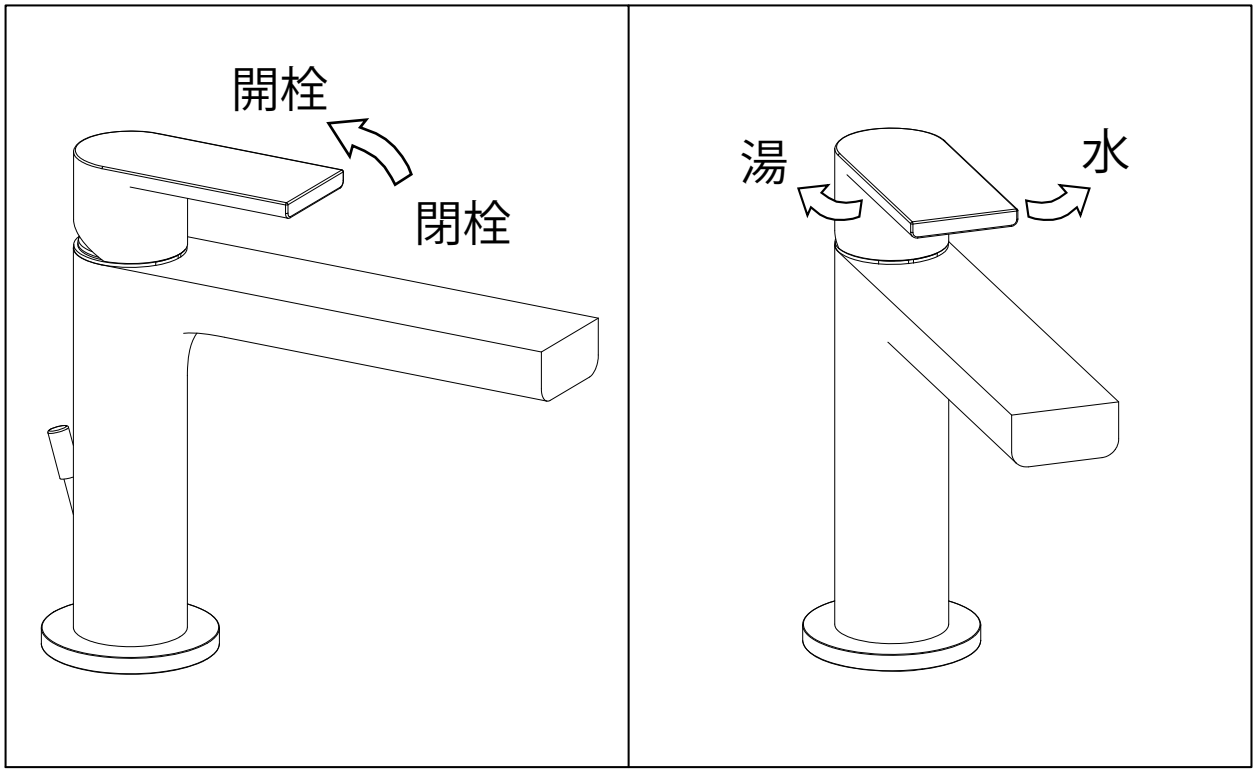
ポップアップジョイント金具

注意

・通水検査時に、必ず金具の締め付け及び漏水していないか御確認ください。
・ズレていると、水漏れの原因になります。

■ ご使用方法・注意点 4

ご使用方法



使用上の注意

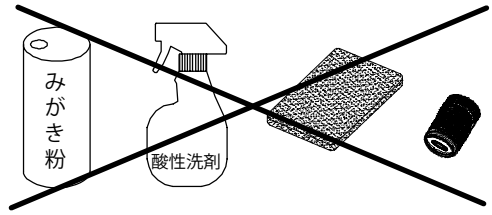
1. 温泉には使用しないで下さい。成分により、フレキシブルホース. クロムメッキの劣化などが起きる可能性があります。
2. 器具半分はお湯が流れます。金属部分が熱くなることがあります。
3. 押してり、叩いたり、無理な力を掛けないで下さい。故障の原因になります。
4. お湯を止める時は、レバーハンドルを水側にしてから止めて下さい。滞留した高温のお湯が次に出ないようにするためです。
5. 専門業者の方以外は分解・改造・修理などしないで下さい。
6. 2ヶ所以上の同時使用の場合は、高温変化に気を付けて下さい。
7. 吐水を止める時、レバーハンドルの操作はゆっくり丁寧に行って下さい。配管にストレスがかかり、故障の原因となります。

お手入れ方法

1.軽い汚れの場合は、OA用クリーニングクロスで汚れを拭きとって下さい。
2.ひどい汚れの場合は、水で適度に薄めた中性洗剤を綺麗な布に浸し、固く絞ってから汚れを拭き取り、その後キメの細かい布で乾拭きして下さい。

⚠ お願い

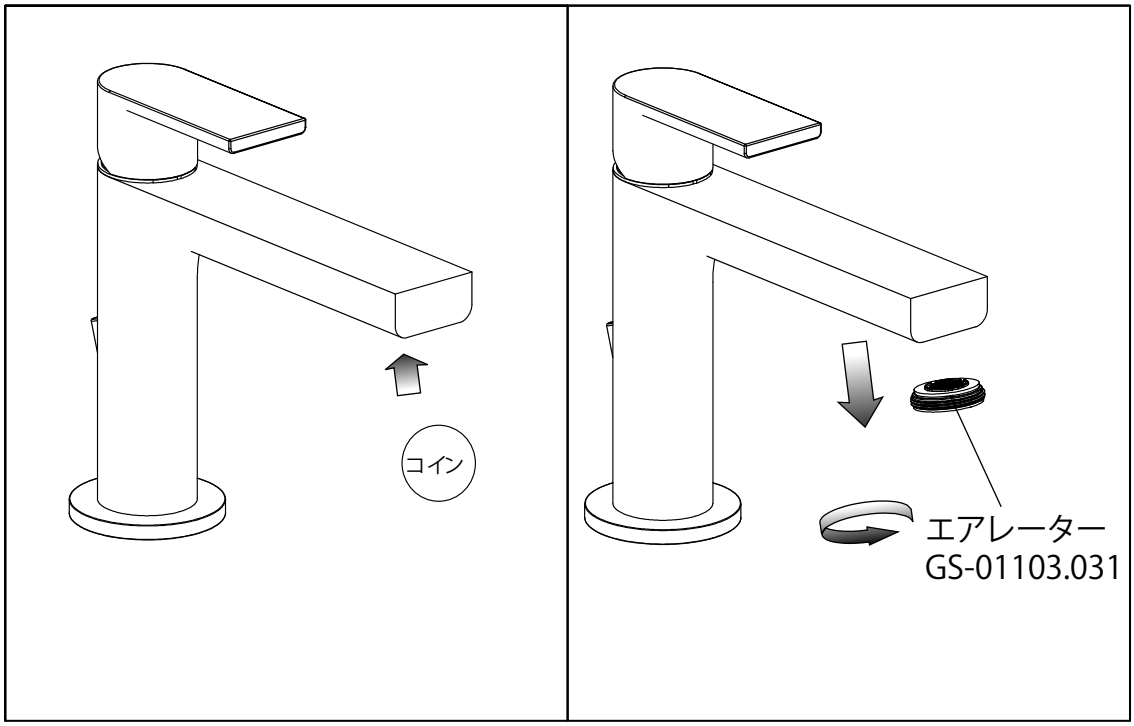
・クレンザー（みがき粉）など粒子の粗い洗剤やスチールナイロンタワシは使用しないで下さい。
・酸性はメッキや樹脂部を痛めますので、絶対に使用しないで下さい。
(酸が染み混んでいる雑巾、布等も不可)タイルなどを酸洗いした場合は必ず固く絞った布で十分に拭きとって下さい。



■ メンテナンス方法 5

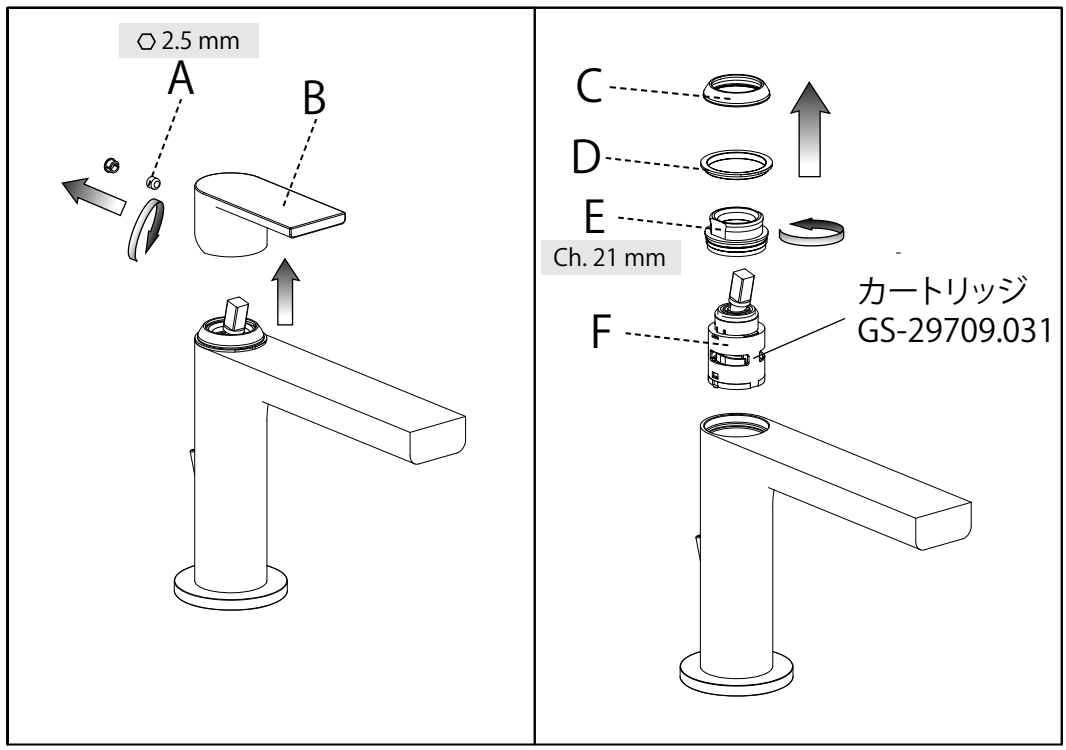
エアレーター清掃・交換手順

1.必ず、止水栓を閉めてから行なって下さい。
2.コイン等を使い、エアレーターを緩め、取り外して下さい。
3.エアレーターにゴミが溜まっているようでしたら、流水で清掃して下さい。
（エアレーターに損傷がある場合、交換して下さい。）
4.取付ける際は取り外した逆の手順で取付をして下さい。



カートリッジ交換手順

1.必ず、止水栓を閉めてから行なって下さい。
2.六角レンチでイモネジ（A）を外して、ハンドル（B）を本体から取り外して下さい。
3.内部から、カートリッジ固定リング（C,D,E）を取り外して下さい。
4.カートリッジ（F）を取り出して下さい。
5.取付ける際には、取り外した逆の手順で取付をして下さい。



※ゴムパッキンのズレ・ナットの締め等が緩いと漏れの原因になります。

● 水の出が悪い。

原因	対処方法
給水ホースがねじれている。	ホースをまっすぐにしてから、給水のさまたげが無いように取付けて下さい。
止水栓が開いてない。	水の出が良くなるように止水栓の調整をして下さい。
エアレーターにゴミがたまっている。	エアレーターをはずし、ゴミをキレイに取って下さい。
給湯器の水圧が弱い。	本体は、給水・給湯ともに0.2～0.3Mpaの水圧が必要です。
カートリッジ内部にゴミがつまっている。	カートリッジの交換をして下さい。

● 蛇口上部から水が漏れる。

原因	対処方法
Oリングがずれている。	カートリッジの下2つのOリングがうまくはまっていない時にも上部から水漏れをおこします。
上フタがキチンと締まっていない。	蛇口上部のトッププレートを締めつけすぎ、またはゆるいと、水漏れにつながります。 トッププレート上部のゴムパッキンがよじれているか汚れが付いているためです。キレイにして下さい。
カートリッジのつまり。	カートリッジ不良の場合は交換して下さい。

● 水がはねる。

原因	対処方法
水の圧力が強すぎる。	止水栓で調整して下さい。 （お湯と水が1:1位になるように調整して下さい。）
エアレーターにゴミが入っている。	エアレーターをはずし、中のゴミを取り除いて下さい。

● 完全に水が止まらない。

原因	対処方法
カートリッジ下部のパッキンのズレ。	カートリッジ調整を行って下さい。それでも止まらない場合はカートリッジ交換をして下さい。